科目ナンバリング	U-LAS14 20018 LJ68						
授業科目名 <英訳>	霊長類学入門Ⅰ Introduction to Primatology I			担当者所属 職名・氏名	ヒト行動進化研究センター 准教授 足立 幾磨 ヒト行動進化研究センター 准教授 宮地 重弘 生態学研究センター 准教授 半谷 吾郎		
群	自然科学科目群	分野(分類)	生物学(各論)		使用言語	日本語	
旧群	B群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	木4	配当学年	主として1・2回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

霊長類学は、ヒトを含む300種以上の霊長類を対象とした自然科学である。われわれヒトの進化や生物学的特性を理解するためには、霊長類のくらし、からだ、こころ、ゲノムといった特性とその多様性や進化を知る必要がある。そのためには、フィールドから実験室まで、非常に多種多様なアプローチが必要である。霊長類研究は、動物学やゲノム科学、認知科学、脳・神経科学、獣医・医科学、古生物学など、さまざまな研究領域にわたっており、他の動物群の研究に類を見ない。また、iPS細胞や情報科学、地球科学など、新たなアプローチを次々と取り入れて新たな地平を開拓している。そんな進取の気概に富んだ霊長類学のこれまでの成果や、現在進行形の最新の研究をもとに、霊長類のさまざまな生物学的特性を知り、ヒトの進化や特性を理解する力を身につけてもらうことが本授業の目的である。研究アプローチごとに分り易く授業することで、霊長類の生物学的特性を幅広く理解できるようにしている。本授業では、霊長類の脳神経科学、認知科学、社会学・生態学に関する講義を行う。より包括的な理解のために、後期開講の「霊長類学入門II」を合わせて受講することを推奨する。

[到達目標]

霊長類のさまざまな生物学的特性を知り、それをもとに、ヒトの進化や特性について理解する力を身につけることを目標としている。

[授業計画と内容]

講義はフィードバックを含む全15回で行われる

認知科学(足立幾磨)
こころの進化を探る「比較認知科学」という観点からヒトを含む霊長類・哺乳類の多様なこころのあり方について概説する
4/11 こころの進化を探るー比較認知科学という学問ー
4/18 チンパンジーの認知科学
4/25 言語の進化
5/9 社会的知性の進化
5/16 発達するこころの進化―比較認知発達―

社会生態学(半谷吾郎)
霊長類の野外研究の成果から、社会、生態、ほかの生物との関係、保全について考察する。
5/23 霊長類の進化とヒトの位置
5/30 霊長類の社会
6/6 霊長類の採食生態
6/13 霊長類とほかの生物の関係
6/20 霊長類の保全

霊長類学入門Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

霊長類学入門Ⅰ(2)

脳神経科学(宮地重弘)
霊長類の脳の構造や機能について概説するとともに、サルでの研究の必要性について考える
6/27 ニューロンと脳
7/4　脳の中の地図
7/11　運動制御の神経機構
7/18　行動と認知

7/25 試験日
8/1　フィードバック日

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

全講義終了後に、小論文形式の筆記試験を行います。担当教員3名がそれぞれ事前に課題を出し、そのうちのひとつを選んで試験当日に解答してもらいます。解答の下書きや資料類の持ち込みは認めません。
評価は筆記試験の結果にもとづいて行います。出席は毎回取ります。出席点は評価には加えませんが、3分の１を超えて欠席した場合は不合格とします。

[教科書]

京都大学霊長類研究所(編) 『新・霊長類学のすすめ』（丸善）ISBN:978-4621085332

[参考書等]

（参考書）
京都大学霊長類研究所（編）『新しい霊長類学 (ブルーバックス 1651)』（講談社）ISBN:978-4062576512
中川尚史ほか（編）『日本のサル学のあした』（京都通信社）ISBN:978-4903473529
泰羅雅登・中村克樹（監訳）『カールソン神経科学テキスト』（丸善出版）ISBN:978-4-621-08670-4

（関連ＵＲＬ）
https://www.ehub-kyoto-u.com/
https://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/~hanya/

[授業外学修（予習・復習）等]

講義ごとに講義のポイントを整理しておき、講師が紹介する本や映像について自主学習することを推奨する。より包括的な理解のために、後期開講の「霊長類学入門II」を合わせて受講することを推奨する。

[その他（オフィスアワー等）]

質問などは、講師に直接尋ねるか、メールで問い合わせてください。講師のメールアドレスは、講義の際に知らせます。